

# 城南家保ニュース Vol.26-1

熊本県城南家畜保健衛生所  
〒868-0042 人吉市蟹作町一本杉 1237-1  
TEL 0966-22-3814 FAX 22-3617  
E-mail [jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp](mailto:jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp)  
ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/site/1018/>



## 城南家保のメンバーが変わりました！



新年度に伴い、定期異動がありました。今回は職員 9 名中 3 名が異動し、新しく 4 名のスタッフが入りました。その内 2 名は新規採用職員と、フレッシュなスタッフを迎え、充実した一年を過ごしたいと思います。本年度もよろしくお願いたします。



### 【前列左から】新任→☆

氏名 長野琢也 谷口雅律 ☆中熊公雄 ☆濱田公男 谷 昌文  
役職 (参事) (衛生課長) (所 長) (防疫課長) (参事)

### 【後列左から】

氏名 古庄幸太郎 ☆佐々木駿 ☆高木郁哉 大坪美智子 福田智美 東 文江  
役職 (防疫課技師) (衛生課技師) (防疫課技師) (防疫課技師) (主任主事) (自衛防疫)

～新任職員より～

☆中熊所長

球磨・芦北地域は、はじめての任地です。浅学非才ですが、地域の畜産振興のため、家畜衛生の方向から頑張っていきたいと思っております。

☆濱田防疫課長

着任直後に高病原性鳥インフルエンザが発生しましたが、皆さまの御協力により発生農場の防疫措置が完了しました。この場をお借りして御礼申し上げます。現在、移動制限の解除、

また、清浄化に向けて取り組んでいるところです。個人的には、初めての単身赴任のため自身の栄養が偏りがちです。これも改善できるように取り組みます。今後とも、どうぞよろしくをお願いします。

#### ☆高木技師

今年度、城南家畜保健衛生所に配属となりました。今年の3月に岩手大学を卒業しました。岩手では、牛に触れる機会が多く、牛が好きなので、芦北・球磨においても牛を中心に様々な動物と接することで、畜産を学び、成長していきたいと思っております。よろしくをお願いします。

#### ☆佐々木技師

新規採用で城南家畜保健衛生所に配属となりました。神奈川県出身で右も左もわかりませんが、皆さんのお力になれるように精一杯頑張りたいと思います。よろしくをお願いします。

## 管内で高病原性鳥インフルエンザ H5N8 が発生



殺処分作業を行う作業員

平成26年4月13日、多良木町の肉用鶏飼養農場において、死亡鶏増加に伴う病性鑑定を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザ(H5N8亜型)の発生が確認されました。韓国では、同ウイルスタイプの発生が継続発生しており、日本への侵入が危惧されたことから、防疫対策会議など危機管理の徹底を行っていた矢先の出来事でした。日本での高病原性インフルエンザ発生は4年ぶりのことで、連日のようにマスコミで取り上げられましたが、農場からの迅速な通報と関係者との連携協力の下で不眠不休の防疫対



配布した防鳥ネット

応の結果、13日疑似患畜の確定から72時間後の16日朝、相良村の関連農場を含む2農場での防疫措置(殺処分~埋却)を無事完了しました。今後、続発が認められなければ、5月8日に制限区域の解除となる運びです。

また、県では野鳥等の侵入防止対策を徹底させるため、移動、搬出制限区域内及び100羽以上飼養の養鶏場に対して、補修用防鳥ネットを配布しました。農場の防鳥ネットに破損がないか再確認をお願いしています。また、継続した飼養衛生管理基準の遵守、定期的な消毒、踏込槽、各鶏舎の専用長靴、専用着衣の設置の徹底の御協力をよろしくをお願いします。

## 近隣諸国における悪性伝染病発生情報(4月2日現在)

病名	発生地	発生日	畜種	型
口蹄疫	北朝鮮	1月16日 ~2月20日	豚	O
	モンゴル	2月3日~2月20日	牛	A
	ロシア	2月12日	牛	A
アフリカ 豚コレラ	ポーランド	2月17日	野生イノシシ	
		2月18日	イノシシ	
	ロシア	2月10日 2月18日、19日	イノシシ 野生イノシシ	
高病原性 鳥インフルエンザ	ラオス	3月13日	家きん	H5N1亜型
	中国	3月1日	家きん	H5N1
	カンボジア	2月24日	家きん	H5N1亜型
	ベトナム	2月7日~2月11日	家きん	H5N1亜型
	韓国	1月16日~	あひる、鶏	H5N8
低病原性 鳥インフルエンザ	中国	2月15日	家きん	H7N9
		2月19日~2月23日	家きん	H7N9

### 編集後記

4/11 職員研修を終えた2名の新人スタッフが我が城南家保に赴任してきました。家保で実施する家畜衛生・防疫業務について、少しずつ仕事を教えるつもりでしたが、翌日の夕方に鳥インフルエンザの病性鑑定が入り、そのまま一人は現場の農場で昼夜問わずの防疫業務を、残りの一人も翌日から農場に入り72時間連続の防疫措置に従事してもらいました。家畜衛生において不測の事態が生じる時代となっております。新人スタッフに畜産振興のための家保の役割を伝えつつ、また、温泉やギョウザ、ホルモン定食、ニンニクラーメン等、城南家保管内の魅力も教えながら、皆さんと一緒に苦難を乗り越えていきたいと思っております。

(衛生課 N)